

プレスリリース：2024年3月27日

ジョウと マッペリが VSR より GT ワールドチャレンジアジアへ参戦 ANR が VSR とのコラボレーションによりランボルギーニ・ファミリーへ参画

2024年のファナテック GT ワールド・チャレンジ・アジアにおいて、マイク・ジョウ選手とマルコ・マッペリ選手が、VSR のランボルギーニ・ウラカン・GT3 Evo2 の63号車にて参戦いたします。彼らは先行して発表された6号車を駆るビアン・イーとエドアルド・リベラティと共にグリッドへ並びます。

そしてVSRは3台目のウラカンGT3を、VSRと日本を拠点に新設されたANRとのコラボレーションによりエントリーいたします。ドライバーには2015年ランボルギーニ・スーパートロフェオ・アジアのアマチャンピオンである水谷晃と、ランボルギーニ・ヤング・プロフェッショナル・ドライバーの根本悠生を迎え、シルバー/アマクラスでのチャンピオン獲得を目指します。

GTワールドチャレンジアジアは4月20日と21日に、マレーシアのセパンにて開幕戦を迎えます。



(photo by Fotospeedy)

マイク・ジョウ：ランボルギーニのファクトリープロドライバーであるマルコ・マペリと、ランボルギーニ・スクアドラ・コルセの支援を受けるVSRという素晴らしいチームと共に参戦できることを大変嬉しく思います。GTワールドチャレンジアジアというエキサイティングなシーズンに向け、VSRと共に準備を進めています。シーズンの開幕を、そしてVSRとともにプロアマクラスにて戦うことを楽しみにしています。

ANR AMI & NIJIKO : VSR と共にランボルギーニの看板を背負い戦えること、またランボルギーニの強さと美しさを発信していけることを、とても誇りに思います。

ビンチェンツォ・ソスピリ (VSR チーム代表) : マイク・ジョウと水谷晃を VSR ファミリーへ迎えられることを嬉しく思いますし、GT ワールドチャレンジアジアへの復帰に向けて、さらに 2 台、強力なドライバーラインアップを発表できたことをとても嬉しく思います。3 台全ての車両が高い競争力を持つと確信しており、チーム全体がセパンでのシーズン開幕を心待ちにしています。

END